
2010年3月期第1四半期決算説明会

新日本製鐵株式會社

2009年7月29日

2010年3月期第1四半期決算実績

世界の経済成長率推移

< 2009年7月8日IMF改定値 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009 見通し 前回(09.04.22)		2010 見通し 前回(09.04.22)	
世界合計	3.6	4.9	4.4	5.1	5.0	3.2	-1.3	-1.4	1.9	2.5
先進諸国	1.9	3.2	2.6	3.0	2.6	0.9	-3.8	-3.8	0.0	0.6
米国	2.5	3.6	3.1	2.8	2.0	1.1	-2.8	-2.6	0.0	0.8
欧州	0.8	2.1	1.6	2.8	2.6	0.9	-4.2	-4.8	-0.4	-0.3
日本	1.4	2.7	1.9	2.4	2.4	-0.6	-6.2	-6.0	0.5	1.7
新興諸国	6.3	7.5	7.1	7.9	8.0	6.1	1.6	1.5	4.0	4.7
中国	10.0	10.1	10.4	11.6	13.0	9.0	6.5	7.5	7.5	8.5
インド	6.9	7.9	9.1	9.8	9.3	7.3	4.5	5.4	5.6	6.5
ASEAN5 [*]	5.8	6.1	5.5	5.7	6.3	4.9	0.0	-0.3	2.3	3.7
ロシア	7.3	7.2	6.4	7.4	8.1	5.6	-6.0	-6.5	0.5	1.5
ブラジル	1.1	5.7	3.2	3.8	5.7	5.1	-1.3	-1.3	2.2	2.5

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ウイトナム

(出所: IMF 世界経済見通し)

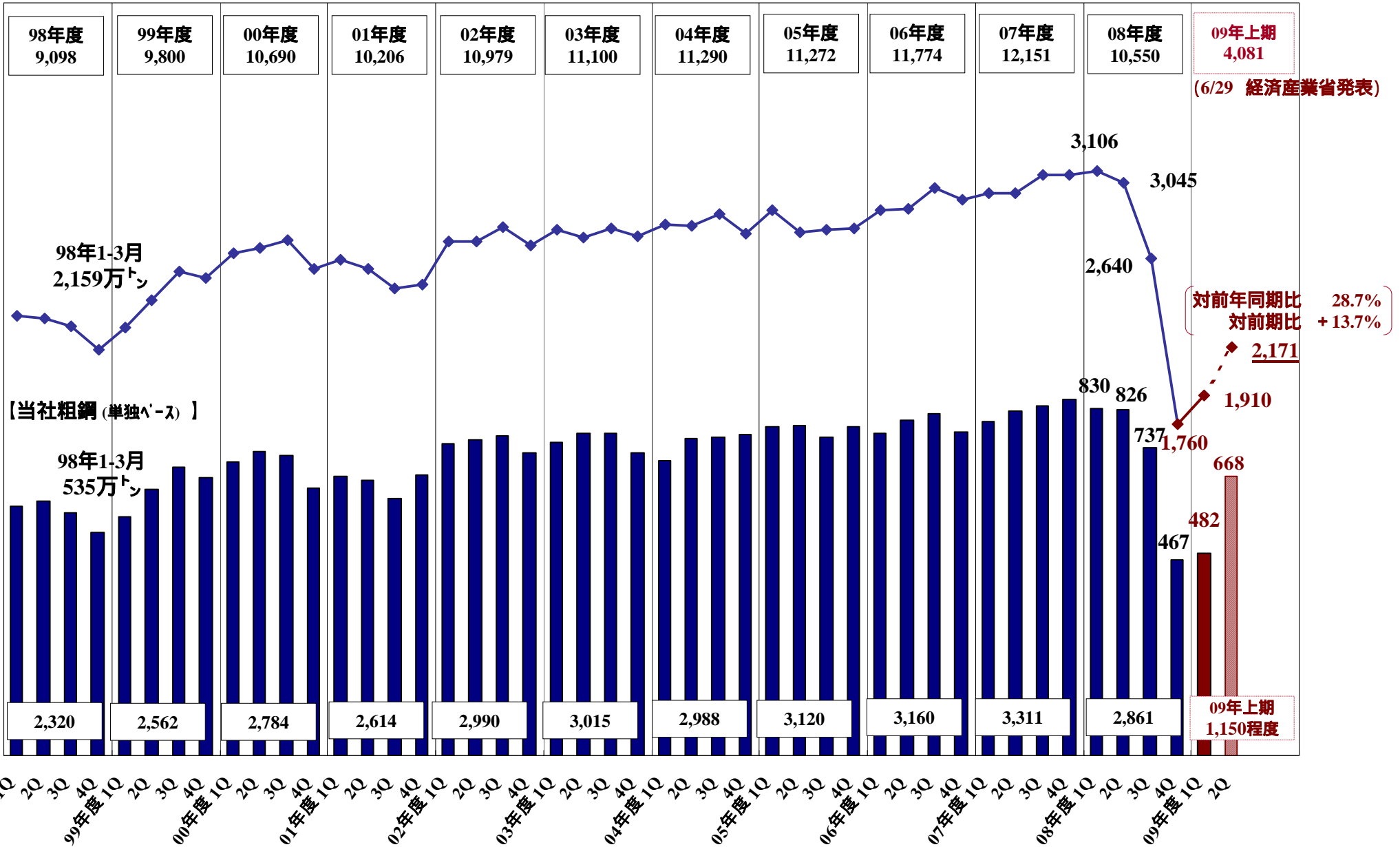
世界の月別粗鋼生産推移

(万トン)							%:対前年同月比					
	08年1Q	2Q	3Q	10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本	(月平均) 1,028	1,035	1,015	1,010	882	748	637	548	574	572	649	689
	3ヶ月累計 3,084	3,106	3,045									
	4.4%	3.9%	1.8%	2.7%	12.9%	27.9%	37.9%	44.2%	46.7%	43.6%	38.5%	33.6%
米国	849	849	834	676	470	392	409	395	395	390	431	445
	2,547	2,548	2,503									
	8.4%	2.0%	1.9%	20.3%	42.7%	53.6%	52.7%	51.9%	54.1%	53.4%	50.6%	46.9%
EU27	1,789	1,857	1,685	1,605	1,276	907	982	1,007	1,032	948	1,050	1,117
	5,367	5,570	5,054									
	0.7%	2.5%	1.4%	10.1%	26.3%	44.3%	44.3%	41.5%	45.2%	48.4%	44.7%	39.0%
ロシア	640	639	620	451	373	331	393	433	463	437	468	487
	1,921	1,916	1,859									
	5.0%	4.6%	5.6%	27.1%	36.5%	46.0%	39.3%	28.2%	30.9%	28.3%	31.2%	22.1%
ブラジル	288	294	313	290	232	165	162	165	173	173	189	194
	864	881	940									
	8.1%	5.7%	8.3%	0.1%	19.1%	45.3%	45.6%	39.0%	41.5%	40.4%	36.3%	33.9%
インド	477	430	464	481	465	450	457	410	474	458	473	458
	1,430	1,290	1,391									
	6.1%	2.2%	6.5%	3.8%	1.9%	4.7%	4.8%	11.5%	2.6%	8.1%	9.3%	5.7%
中国	4,144	4,588	4,236	3,590	3,519	3,779	4,119	4,042	4,510	4,341	4,646	4,943
	12,432	13,763	12,707									
	8.2%	10.3%	0.2%	17.0%	12.4%	8.5%	1.5%	4.0%	0.5%	2.8%	1.0%	5.3%
世界計	11,336	11,873	11,241	9,879	8,780	8,441	8,642	8,470	9,214	8,945	9,559	9,983
	34,009	35,619	33,724									
	5.5%	6.2%	1.8%	13.9%	20.1%	24.3%	23.4%	21.4%	22.9%	23.2%	20.9%	16.1%

(出所: world steel association)

全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

【全国粗鋼】



主要需要分野の活動水準推移

			08年度 実績	1Q	2Q	3Q	4Q	09年度 1Q実績	前年同期比
建 築	住宅着工戸数	万戸	104	29	29	26	20	20	31%
	土木	非住宅着工戸数	万㎡	5,956	1,597	1,654	1,465	1,240	1,000
自 動 車	完成車生産台数	万台	999	288	291	259	161	171	41%
	完成車輸出台数	万台	560	171	173	149	67	80	53%
	KDセット輸出	万セット	705	216	198	193	98	148	31%
産 業 機 械	大中型ショベル	千台	66	22	22	16	6	4	80%
	金属工作機械	千ト	423	123	129	103	68	49	60%
	フォークリフト	千台	146	47	46	35	18	14	70%
造 船	新造船起工 (当社推定)	万GT	1,850	465	465	480	440	435	7%

主要需要分野の鋼材消費推移

	08年度 実績	1Q	2Q	3Q	4Q	09年度 1Q実績	09年度 2Q見通し
国内鋼材消費 万トン	6,995	1,914	1,909	1,704	1,468	1,381	1,477
製造業比率	61.2%	65.2%	62.5%	58.4%	57.2%	63.2%	63.5%
普通鋼鋼材消費 万トン	5,829	1,556	1,572	1,472	1,229	1,117	1,186
建設 万トン	2,557	625	670	668	594	476	501
製造業 万トン	3,272	931	902	804	635	641	685
(うち造船) 万トン	622	156	158	157	151	146	144
(うち自動車) 万トン	1,187	357	345	286	199	219	251
特殊鋼鋼材消費 万トン	1,166	358	337	232	239	264	291

(当社推定)

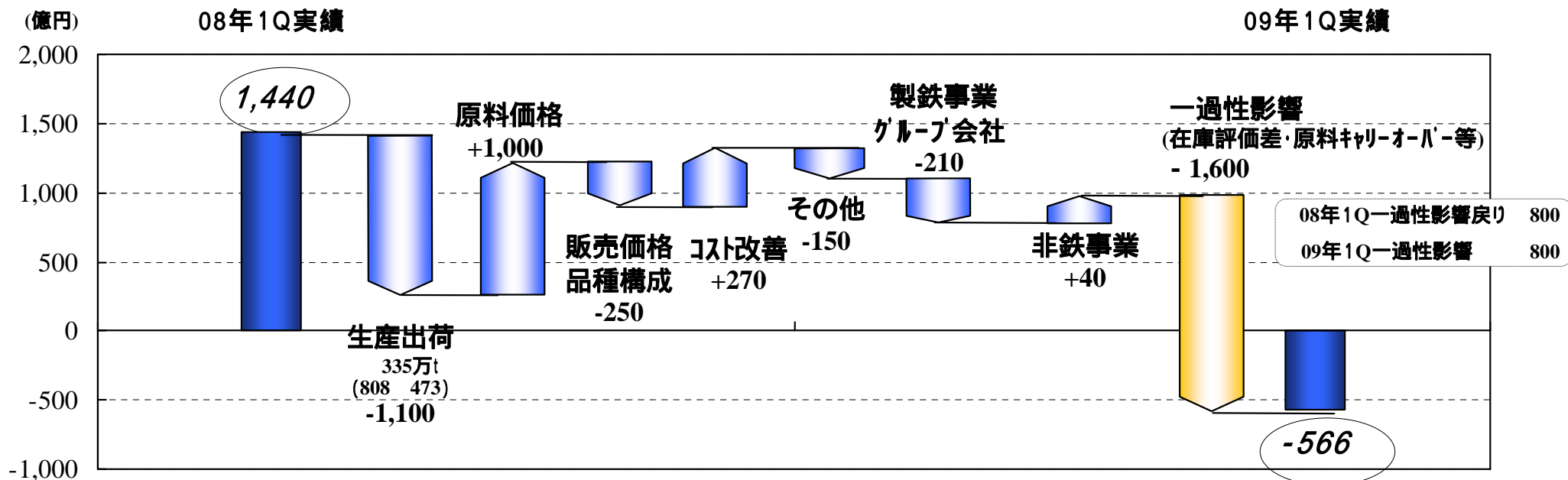
製鉄事業諸元前提

	08年度実績					09年度1Q実績	09年度2Q見通し
	1Q	2Q	3Q	4Q			
	08年上期実績		08年下期実績		09年上期見通し		
全国粗鋼生産量 万トン	10,550	3,106	^{6,151} 3,045	2,640	^{4,400} 1,760	1,910	^{4,081} 2,171
当社出銑量 万トン	2,849	804	^{1,607} 804	747	^{1,241} 495	484	^{1,130程度} 646
連結粗鋼生産量*1 万トン <参考> 当社単独	3,124 <2,861>	916 <830>	^{1,823} 906 <1,657> <826>	797 <737>	^{1,301} 504 <1,204> <467>	538 <482>	^{1,270程度} 732 <1,150程度> <668>
当社鋼材出荷量 万トン	2,820	808	^{1,637} 829	712	^{1,183} 471	473	^{1,130程度} 657
当社販売価格 千円/トン	104.7	92.0	108.2	112.4	108.5	88.4	N.A.
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	32.5	31.8	35.0	31.8	30.1	33.1	N.A.
為替レートの ¥/\$	102	104	108	99	93	97	95程度

*1 北海製鉄の出銑量含む

第1四半期連結損益実績分析(前年同期比)

(単位:億円)	09年度 1Q実績	08年度 1Q実績	前年同期比 増減
売上高	7,450	11,985	-4,535
営業損益	-534	1,197	-1,731
経常損益	-566	1,440	-2,006
特別損益	-64	35	-99
当期損益 <一株当たり当期利益>	-422 <-6.7>	827 <13.2>	-1,249 <-19.9>



第1四半期セグメント別損益実績

(単位:億円)

	09第1四半期 実績(A)		売上高 営業利益率	08第1四半期 実績(B)		売上高 営業利益率	増減(A B)	
	売上高	営業損益		売上高	営業損益		売上高	営業損益
連 結 計	7,450	-534	-7.2%	11,985	1,197	10.0%	-4,535	-1,731
製 鉄	5,788	-649	-11.2%	10,302	1,116	10.8%	-4,514	-1,765
非 鉄 計	1,939	131		2,023	83		-83	+48
エンジニアリング	888	77	8.7%	724	22	3.0%	+164	+55
都市開発	215	10	4.7%	110	10	9.1%	+105	~
化学	379	25	6.6%	647	34	5.3%	-268	-9
新 素 材	129	-1	-0.0%	192	-0	-0.0%	-63	-1
システム ソリューション	326	19	5.8%	348	15	4.3%	-22	+4
消 去	-277	-15		-340	-2		+63	-13

連結貸借対照表(2009/3月末 6月末)

資産の部

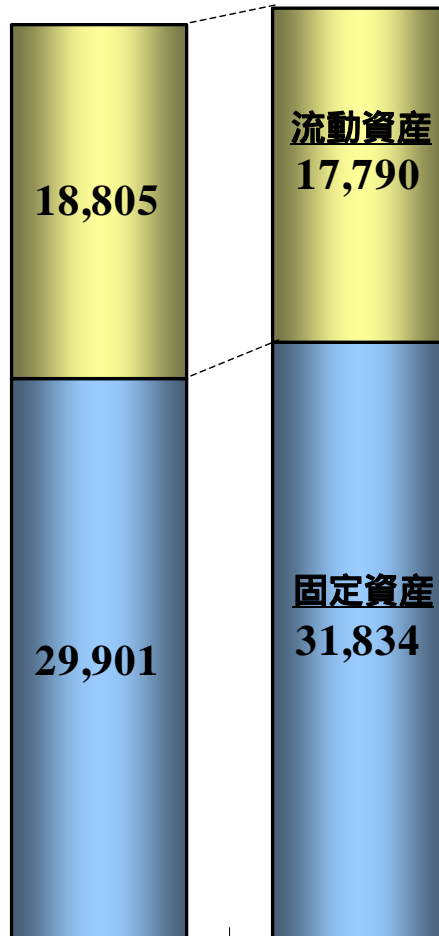
(億円)

09/03末

09/06末

48,706

49,624



流動資産 -1,015

- ・売掛債権 - 847
- ・棚卸資産 - 434

等

固定資産 +1,933

- ・固定資産増 +506
- ・有価証券時価評価差額 +1,429

等

日経平均株価
8,110 9,958円

負債及び純資産の部

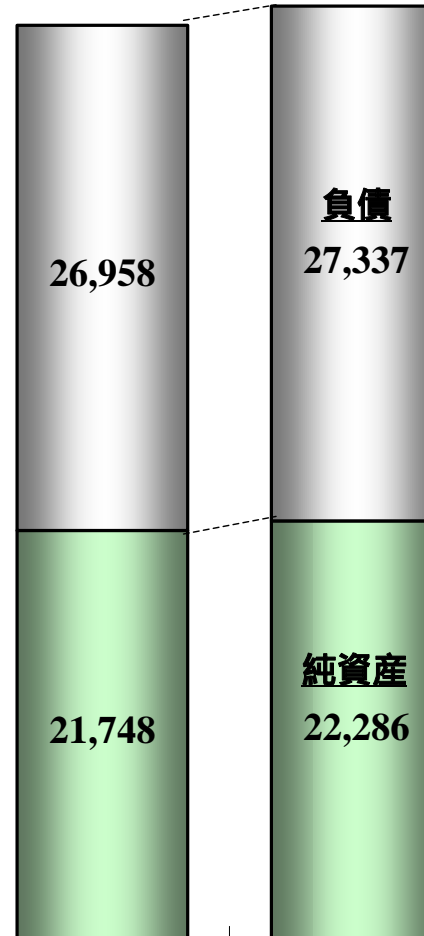
(億円)

09/03末

09/06末

48,706

49,624



負債 +379

- ・買掛債務 -742
- ・有利子負債 +1,104

14,542 15,646

D/E 0.87 0.91

等

純資産 +538

- ・利益剰余金 -484
- ・その他有価証券評価差額金 +852

税効果後の純資産直入額
226 1,078

- ・為替換算調整勘定 +144

等

大分製鉄所第1高炉の稼動について <2009年7月14日公表>

今後の需要見通しは、穏やかな回復にとどまるものの、生産効率、コスト等を総合的に勘案し、本年8月2日、改修工事以降、操業を一時休止していた大分製鉄所第1高炉の稼動(火入れ)を決定。

コークス炉の一部で実施したホットバンキングについても、高炉の稼動にあわせて適宜解除を検討。

今後も国内外の需給・在庫動向を踏まえ、実需に見合った慎重な生産対応を図っていく。

君津製鉄所第2高炉はバンキング(一時休止)を継続。

(参考) 当社の高炉の概要

	稼動状況	炉容積 (m ³)
大分	第1高炉(今回稼動)	5,775
	第2高炉(稼動中)	5,775
君津	第2高炉(バンキング中)	3,273
	第3高炉(稼動中)	4,822
	第4高炉(稼動中)	5,555
八幡	第4高炉(稼動中)	4,250
室蘭 <small>(北海製鐵)</small>	第2高炉(稼動中)	2,902
名古屋	第1高炉(稼動中)	5,443
	第3高炉(稼動中)	4,300

<大分製鉄所 第1・第2高炉>

世界最大(炉容積5,775m³)のツイン高炉による
効率的な生産体制の確立



2010年3月期損益見通し

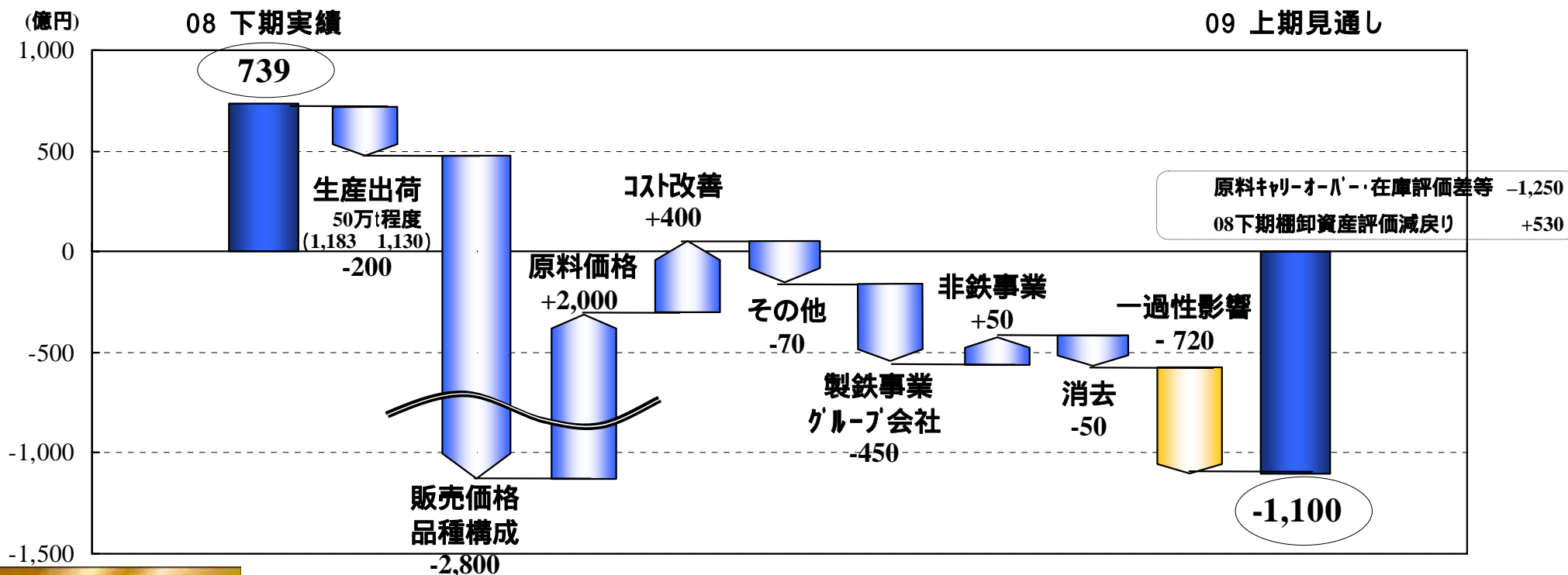
年度連結・単独損益見通し

景気回復の見通しが依然不透明であることから暫定値

(単位:億円)	09年度 (暫定値)		08年度 実績		対前年度	上期
	09年度 (暫定値)	上期 見通し	08年度 実績	上期		
売上高	35,000	15,500	47,698	26,021	-12,698	-10,521
営業損益	0	-1,000	3,429	2,484	-3,429	-3,484
経常損益	0	-1,100	3,361	2,622	-3,361	-3,722
単独	-500	-1,300	2,036	1,621	-2,536	-2,921
当期損益 <一株当たり当期利益>	0 <0.0>	-800 <-12.7>	1,550 <24.6>	1,616 <25.7>	-1,550 <-24.6>	-2,416 <-38.4>

上期連結経常損益見通し(対08年度下期実績)

(単位:億円)		09上期見通し (A)	08下期実績 (B)	増減 (A B)	前回暫定値 (C)	増減 (A C)
売上高		15,500	21,676	-6,176	15,000	+500
営業損益		-1,000	945	-1,945	-1,000	~
経常損益		-1,100	739	-1,839	-1,000	-100
単独		-1,300	415	-1,715	-950	-350
当期損益		-800	-65	-735	-600	-200
<一株当たり当期利益>		<-12.7>	<-1.0>	<-11.7>	<-9.5>	<-3.2>



製鉄以外5セグメントの概況

		09年度 1Q実績	対前年 同期比	09年度 上期見通し	対前回 暫定値	<概況>
エンジニアリング	売上高	888	+164	1,600	+200	既受注案件により、売上・損益は堅調。 上期見通しは下期からの工事完工の繰り上がり等により好転の見込み。
	営業利益	77	+55	100	+40	
都市開発	売上高	215	+105	400	~	マンション分譲で都心大型物件の引渡しが順調に推移したこと等により上期は前年と同水準で推移。
	営業利益	10	~	30	~	
化学	売上高	379	-268	800	~	ニードルコークス需要は電炉鋼減産影響により低迷。 化学品市況は穏やかに回復。 電子材料は需要回復基調。
	営業利益	25	-9	30	-10	
新素材	売上高	129	-63	250	~	半導体・電子部材分野は本年2-3月に底を打ち、緩やかな回復傾向。
	営業利益	-1	-1	-10	~	
システムソリューション	売上高	326	-22	700	~	顧客企業のシステム投資抑制傾向が継続する中、 販管費の削減等により、減収ながら増益を確保。
	営業利益	19	+4	30	~	
非鉄計	売上高	1,939	-83	3,750	+200	
	営業利益	131	+48	180	+30	

連結セグメント別損益見通し

(単位:億円)		09年度		08年度		前年同期比	
		暫定値	上期	実績	上期		上期
連結計	売上高	35,000	15,500	47,698	26,021	-12,698	-10,521
	営業損益	0	-1,000	3,429	2,484	-3,429	-3,484
製鉄	売上高	28,000	12,500	40,386	22,337	-12,386	-9,837
	営業損益	-300	-1,100	3,070	2,296	-3,370	-3,396
非鉄計	売上高	8,100	3,750	8,904	4,435	-804	-685
	営業損益	410	180	385	209	+25	-29
エンジニアリング	売上高	3,600	1,600	3,866	1,687	-266	-87
	営業損益	200	100	246	59	-46	+41
都市開発	売上高	800	400	701	255	+99	+145
	営業損益	40	30	39	22	+1	+8
化学	売上高	1,650	800	2,121	1,369	-471	-569
	営業損益	70	30	8	80	+62	-50
新素材	売上高	550	250	599	358	-49	-108
	営業損益	0	-10	-23	2	+23	-12
システムソリューション	売上高	1,500	700	1,615	764	-115	-64
	営業損益	100	30	114	43	-14	-13
消去	売上高	-1,100	-750	-1,592	-751	+492	-1
	営業損益	-110	-80	-26	-21	-84	-59

<参考> 主要上場グループ会社等損益実績 <2009年7月29日時点>

会社名	決算発表日 (公表予定日)	(単位:億円)	08年度 実績	09年度 1Q実績	09年度 上期見通し	09年度 見通し	
製鉄事業							
大阪製鐵 連	2009/7/29	[上場] 5449 (61%)	売上高	1,265	154	300	630
			経常利益	208	34	37	50
			当期利益	120	19	21	28
鈴木金属工業 連	(2009/8/5)	[上場] 5657 (67%)	売上高	366	N.A.	130	350
			経常利益	0.95	N.A.	-9	2
			当期利益	-1.7	N.A.	-5	0
新日鐵住金ステンレス 連	2009/7/29	[非上場] (80%)	売上高	3,036	352	N.A.	N.A.
			経常利益	-343	-26	N.A.	N.A.
			当期利益	-214	-18	N.A.	N.A.
山陽特殊製鋼 持	2009/7/27	[上場] 5481 (15%)	売上高	1,627	164	380	1,000
			経常利益	48	-65	-82	5
			当期利益	-10	-39	-51	3
合同製鐵 持	(2009/7/31)	[上場] 5410 (15%)	売上高	1,926	N.A.	560	1,140
			経常利益	120	N.A.	36	75
			当期利益	54	N.A.	18	40
日鐵商事 持	(2009/7/31)	[上場] 9810 (34%)	売上高	13,208	N.A.	3,900	8,600
			経常利益	130	N.A.	15	50
			当期利益	74	N.A.	4	40
太平工業 持	(2009/8/7)	[上場] 1819 (37%)	売上高	1,629	N.A.	880	1,550
			経常利益	136	N.A.	56	70
			当期利益	77	N.A.	30	35
非鉄事業							
新日鐵化学 連	四半期開示 なし	[非上場] (100%)	売上高	2,118	N.A.	N.A.	N.A.
			経常利益	-6	N.A.	N.A.	N.A.
			当期利益	-176	N.A.	N.A.	N.A.
新日鐵ソリューションズ 連	2009/7/29	[上場] 2327 (67%)	売上高	1,615	326	700	1,500
			経常利益	119	20	35	100
			当期利益	63	10	17	53

・2009年度第1四半期
当社連結対象会社:331社

連結子会社:258社
持分法適用関連会社:73社

・2009年6月15日
鈴木金属工業(株)による
ガルピットン社の買収完了
第三者割増増資払い込み完了に
よる鈴木金属の当社連結子会社化
(持分比率35.9% 66.59%)

非上場会社は実績のみを開示
1Q決算公表前の会社は
前回公表値を掲載

各社連結ベースの数値

()内は持分比率
連 = 連結子会社
持 = 持分法適用関連会社

剰余金の配当(第2四半期末)について

第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に則り、
上期の連結当期利益が赤字となる見通しであること及び年度見通しの状況を踏まえ、
誠に遺憾ではあるものの、見送る方針とさせていただきます。

なお、期末配当方針につきましては、
第3四半期決算発表時に判断し、公表させて頂くことと致します。

中長期的な経営戦略について

中長期の経営方針

< 2009年4月28日既公表(短信に記載) >

(1) 製鉄事業については、高級品分野をコア・マーケットとして、経済的かつ合理的な設備投資・資本提携を通じた規模の拡大により、グループ粗鋼規模「4,000万トン+ 体制」を構築するとともに、競争力ある国内事業をベースとして、海外現地での生産・販売拡大を積極的に展開する「グローバル・プレーヤー」への転換を図るという従来からの2つの基本戦略をもとに、経営を推進してまいります。さらに、当社グループの競争力の源泉である技術力の強化のために「技術先進性」と「現場力」の両面で、レベル・アップを引き続き図ってまいります。

(2) 製鉄以外の事業については、急激な事業環境の変化のなかで、技術先進性の拡大による新商品・サービスの開発、ソリューション型営業の展開により、収益力と財務体質の強化、市場プレゼンスの確立に取り組んでまいります。

これらの取り組みを通じて「持続的成長」と「グループ企業価値向上」の実現に向け邁進してまいります。

加えて、省エネルギーや地球温暖化防止に向けたCO2削減、環境対応商品の開発等、環境経営の積極的な推進と、法令遵守の徹底を図り、市場と社会から信頼されるグループを目指してまいります。

ご参考

設備投資・減価償却費

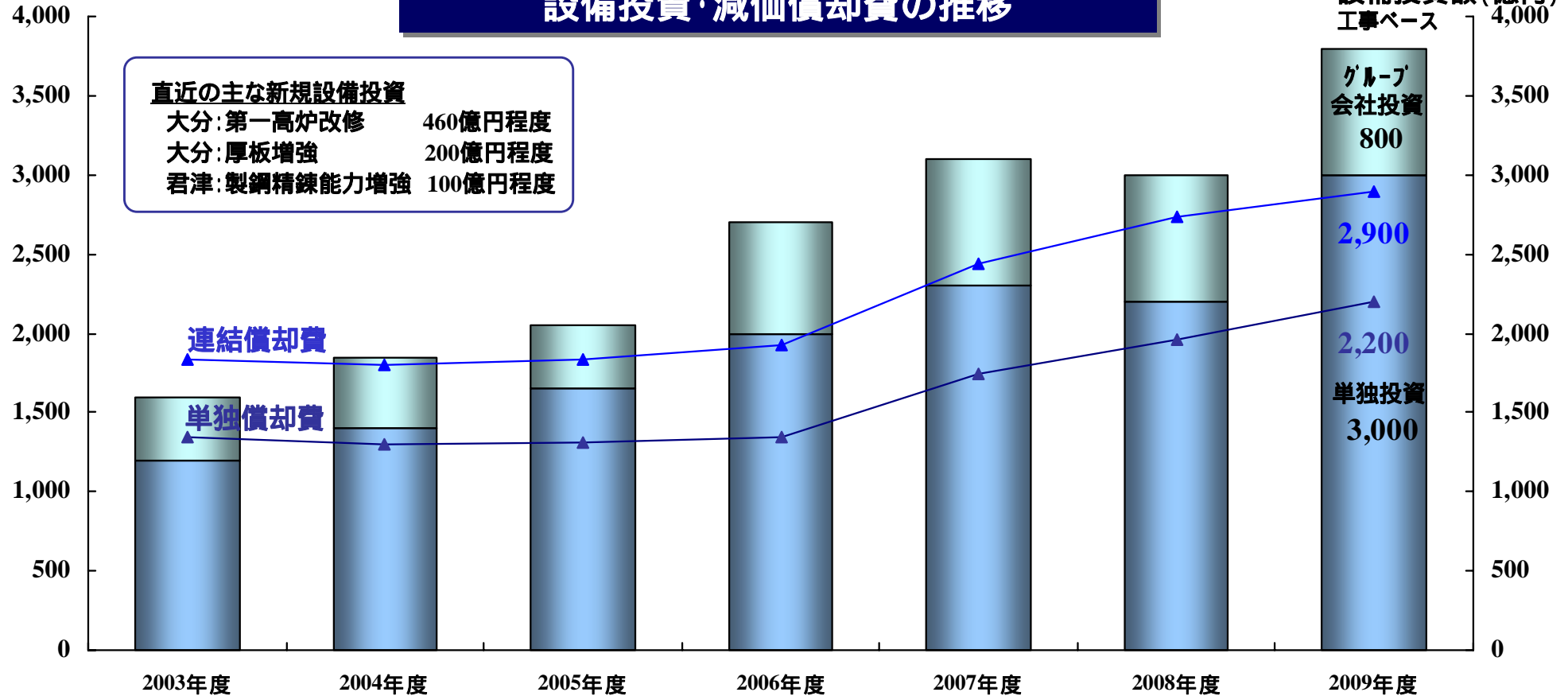
単位:億円

設備投資額 (減価償却費)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 見通し
連 結	1,600 (1,840)	1,850 (1,805)	2,050 (1,833)	2,700 (1,925)	3,100 (2,440)	3,000 (2,737)	3,800 (2,900)
単 独	1,200 (1,340)	1,400 (1,299)	1,650 (1,306)	2,000 (1,342)	2,300 (1,749)	2,200 (1,963)	3,000 (2,200)

減価償却費(億円)

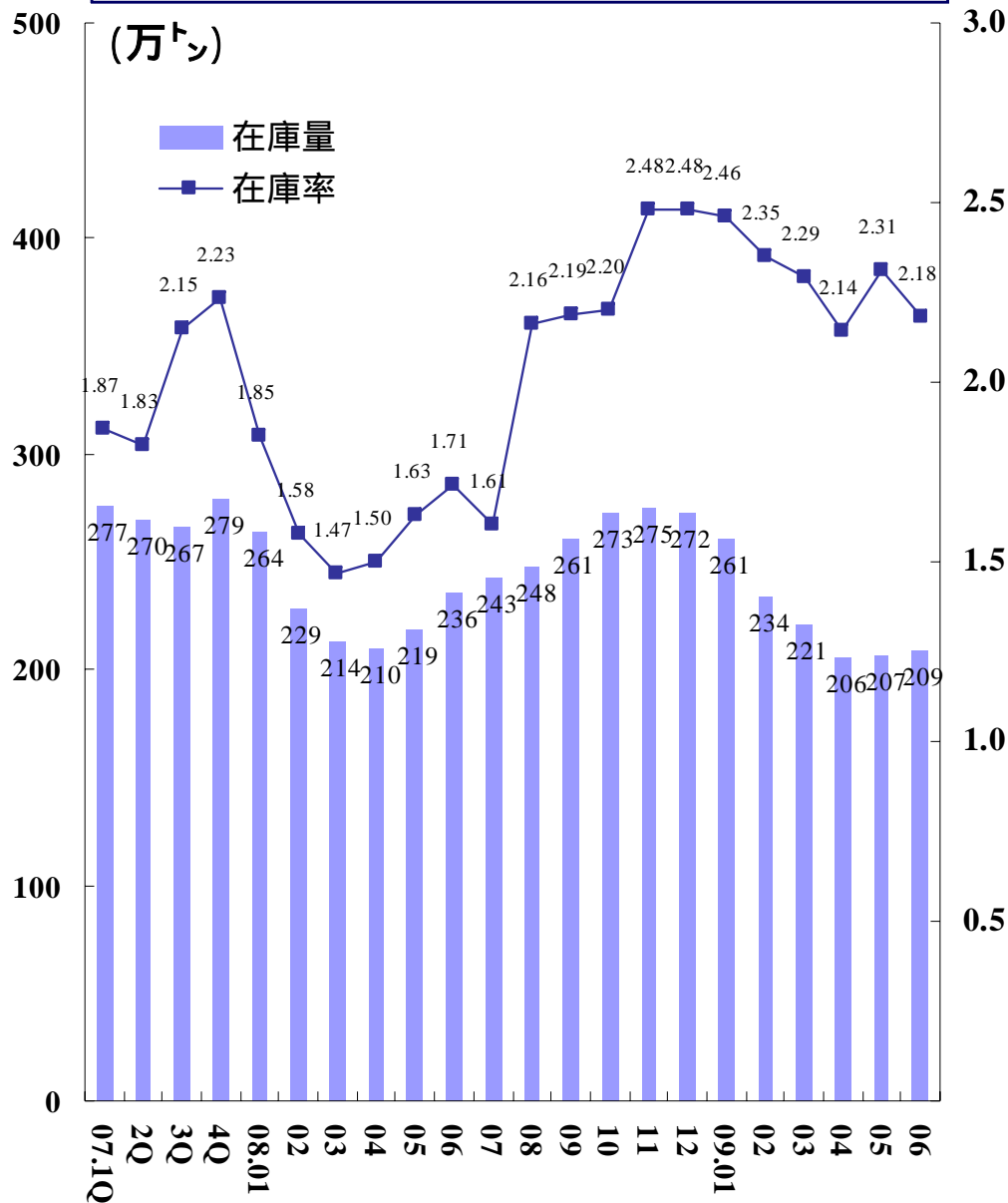
設備投資・減価償却費の推移

設備投資額(億円)
工事ベース

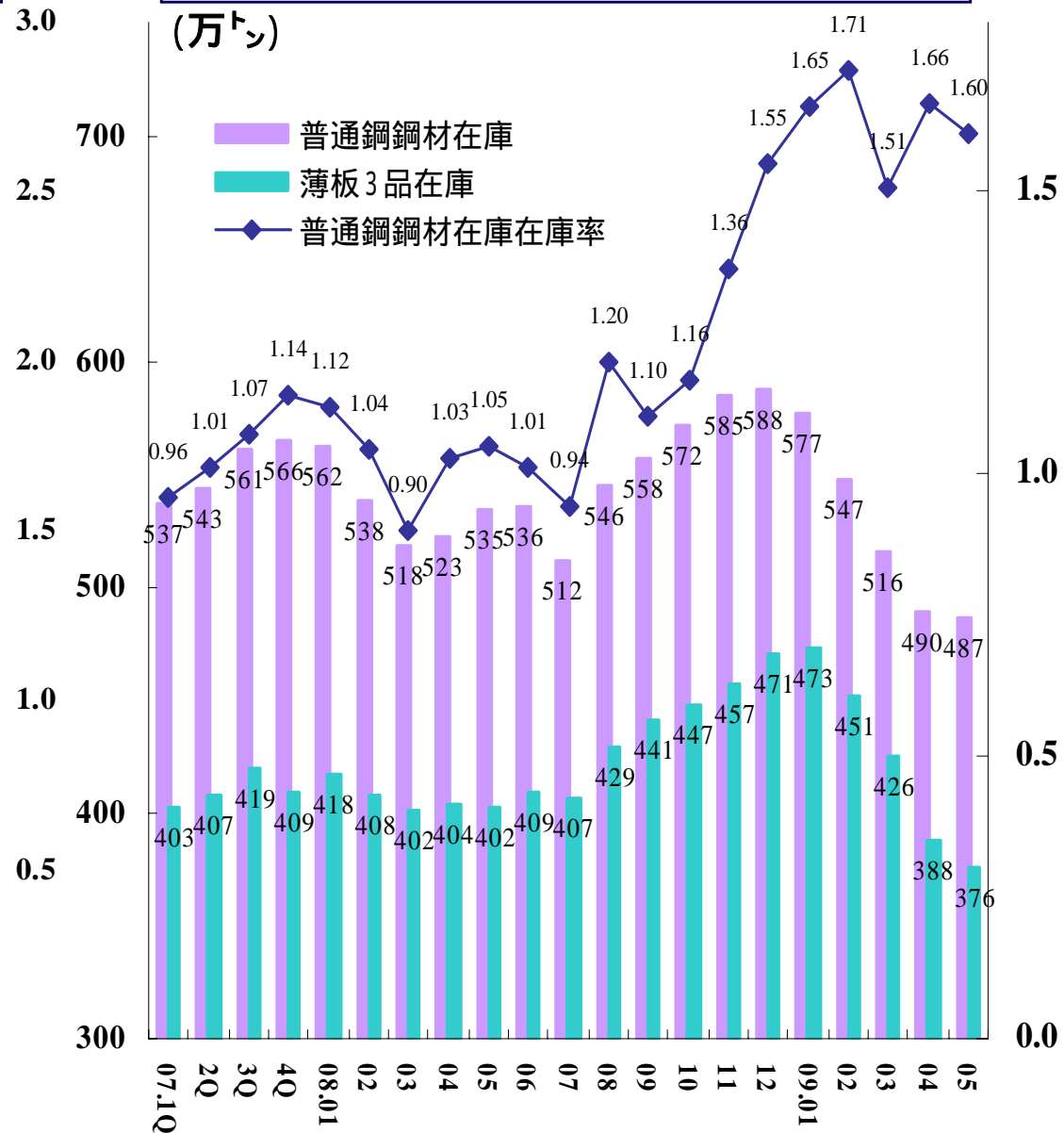


国内鋼材在庫量推移

ときわ会在庫

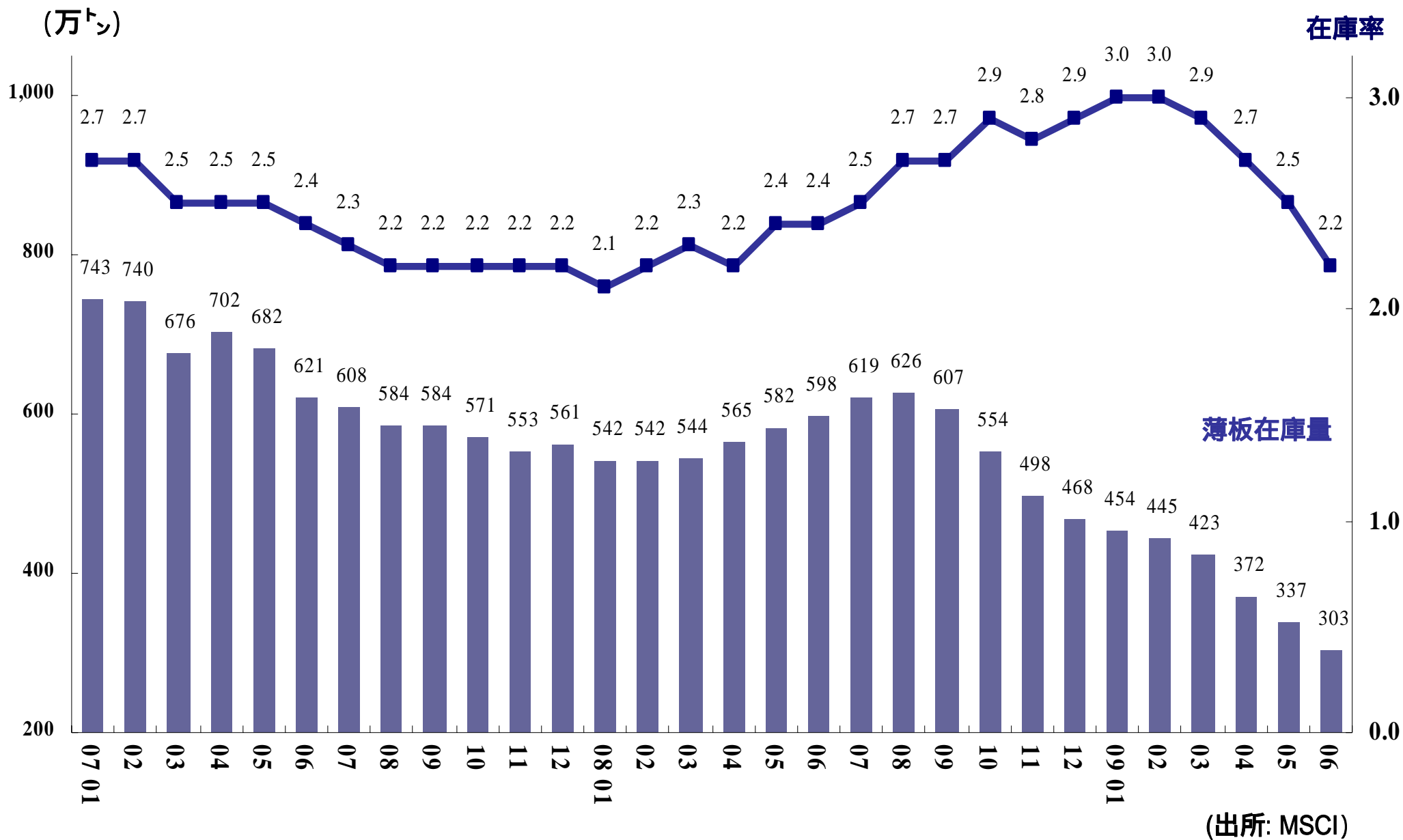


普通鋼鋼材国内在庫



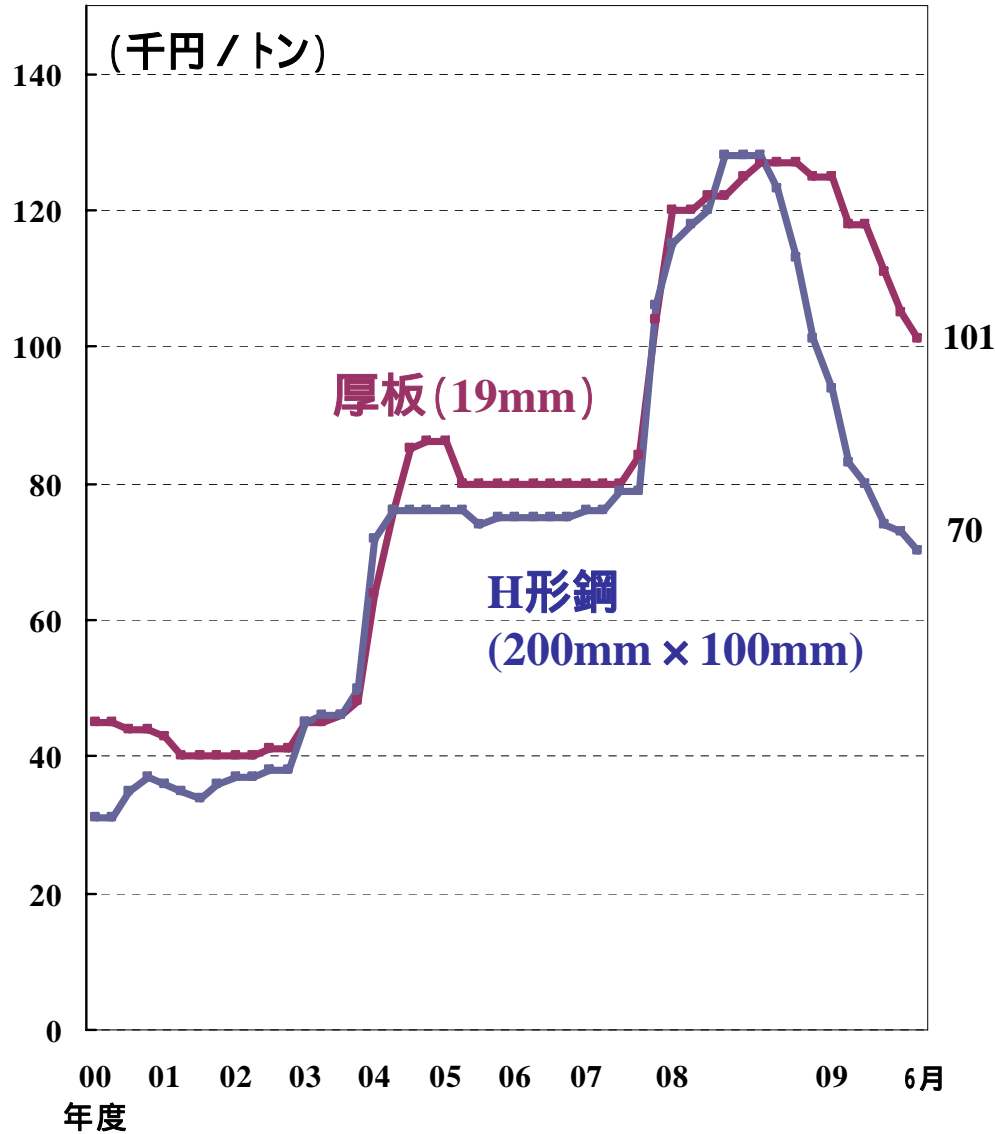
(出所: 日本鉄鋼連盟)

米国鋼材在庫量推移

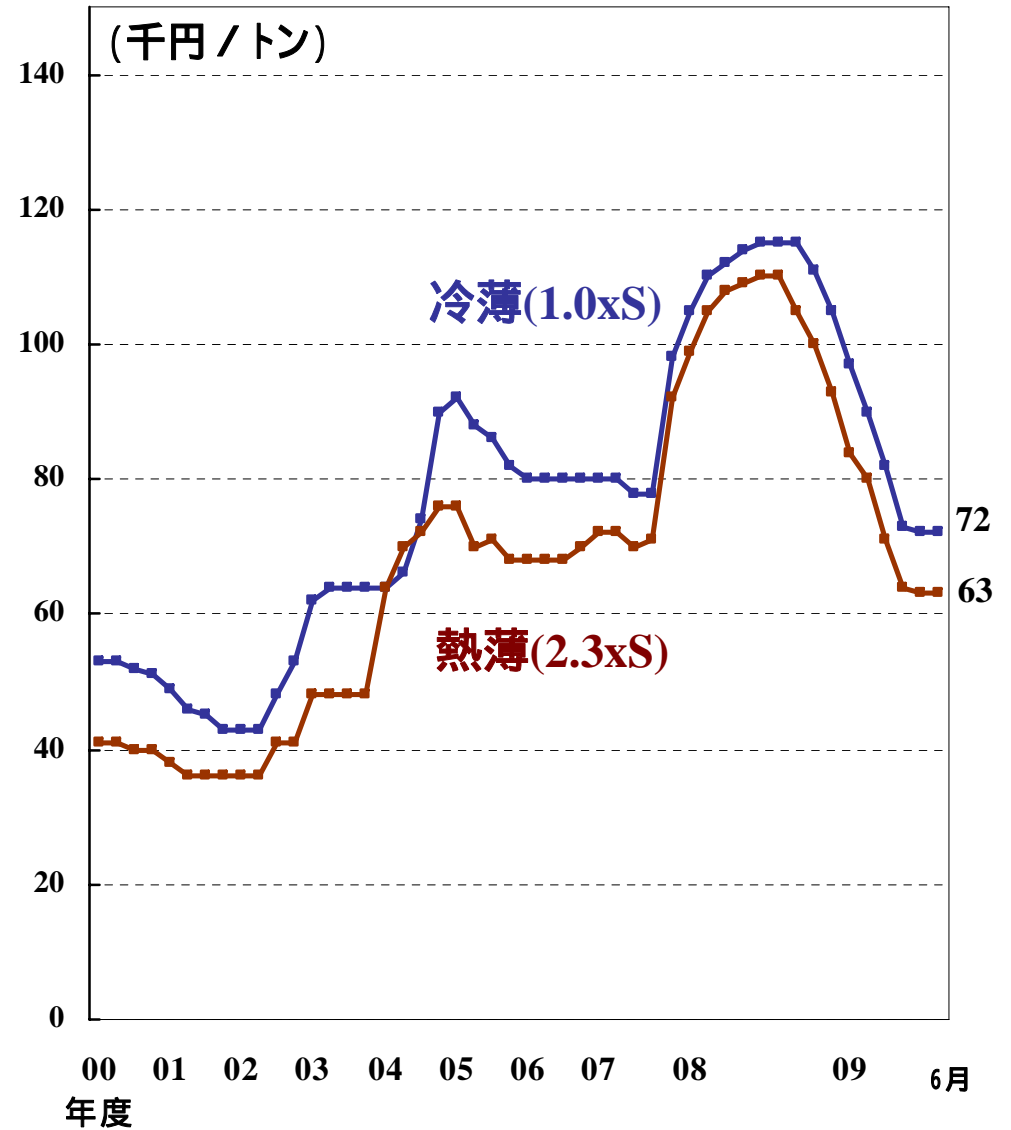


国内鋼材市況 < 店頭価格 >

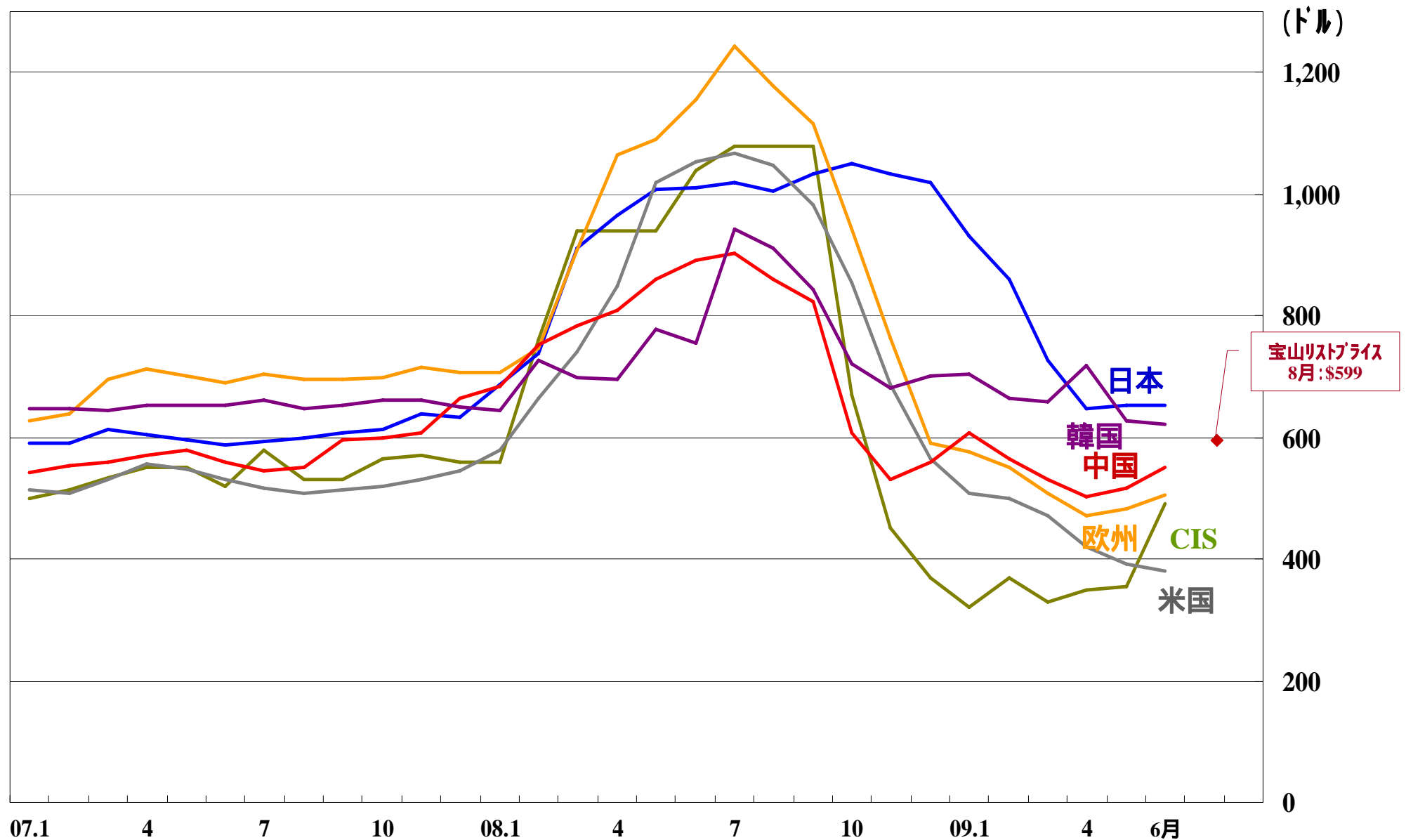
H形鋼・厚板



熱延薄板・冷延薄板

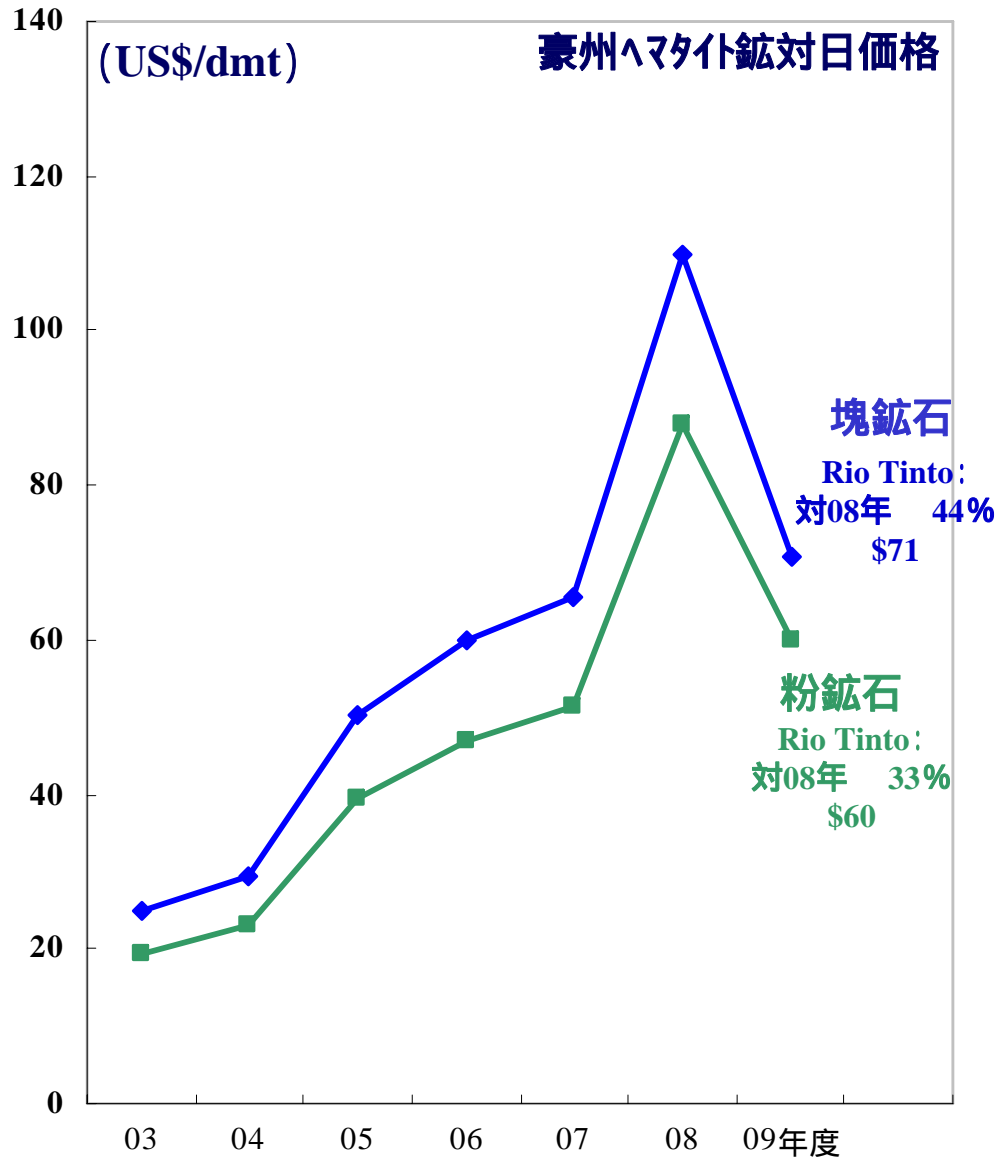


世界各国ホットコイル市況推移

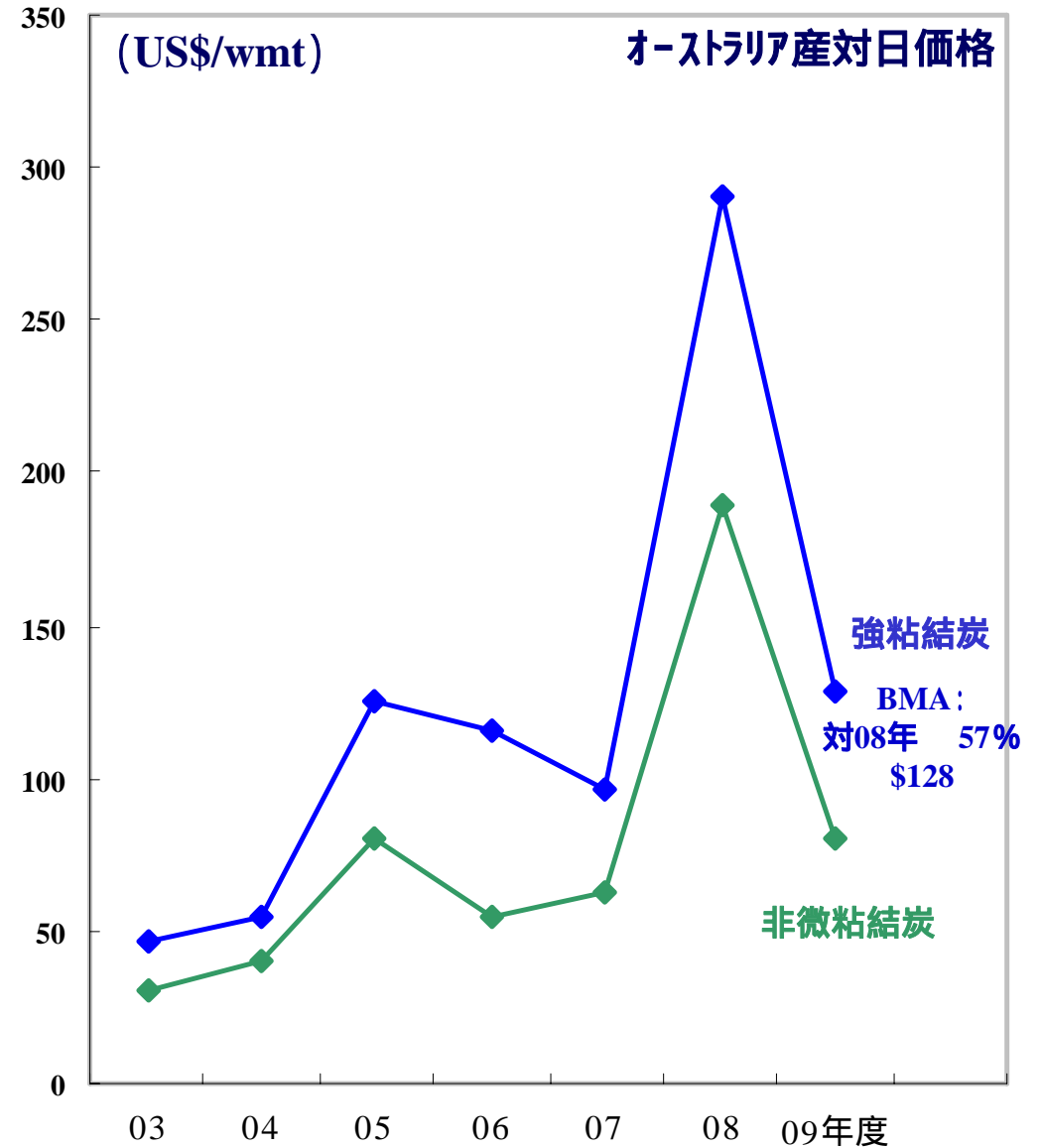


主原料価格動向

鉄鉱石（年度契約）

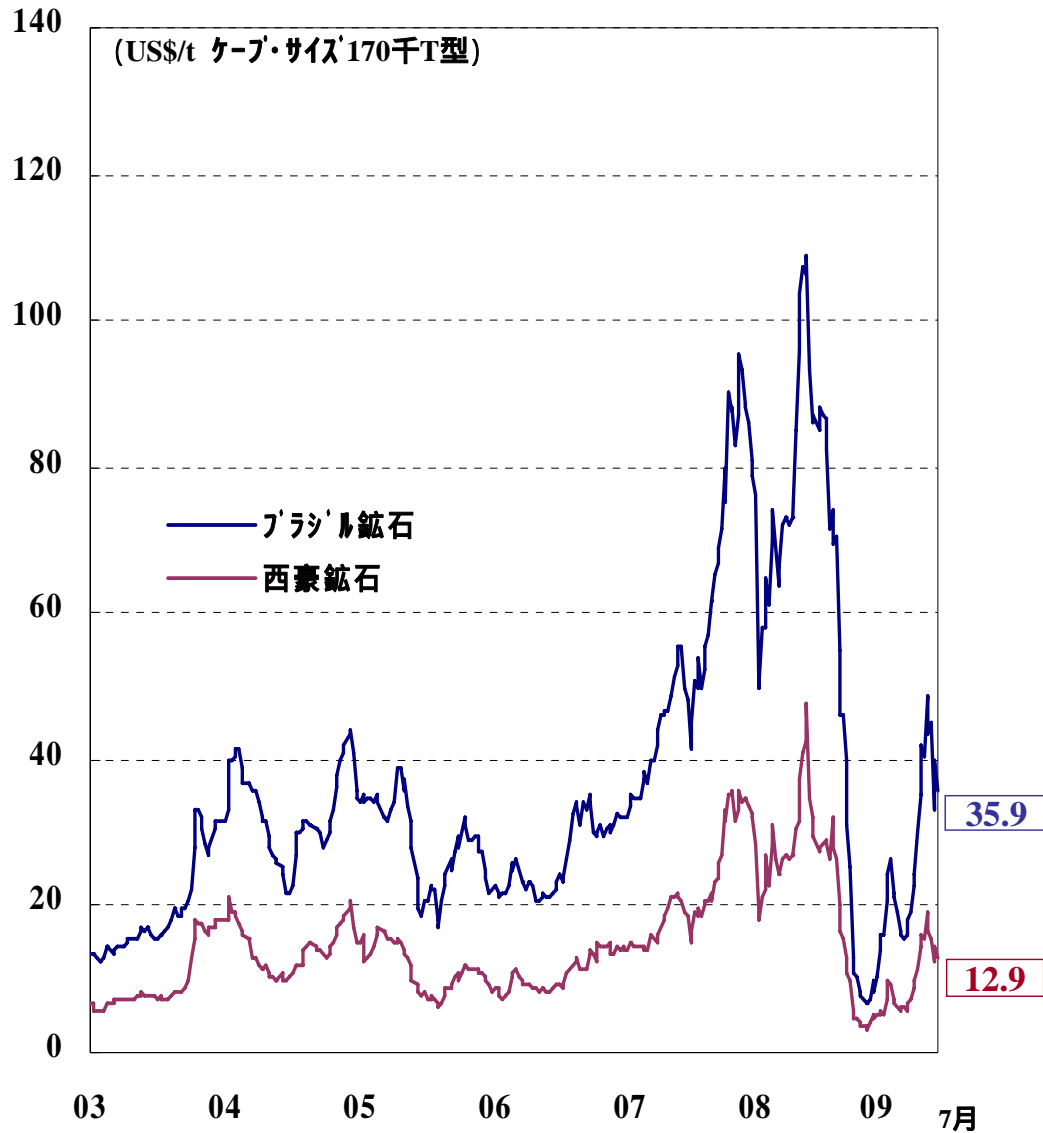


原料炭（年度契約）

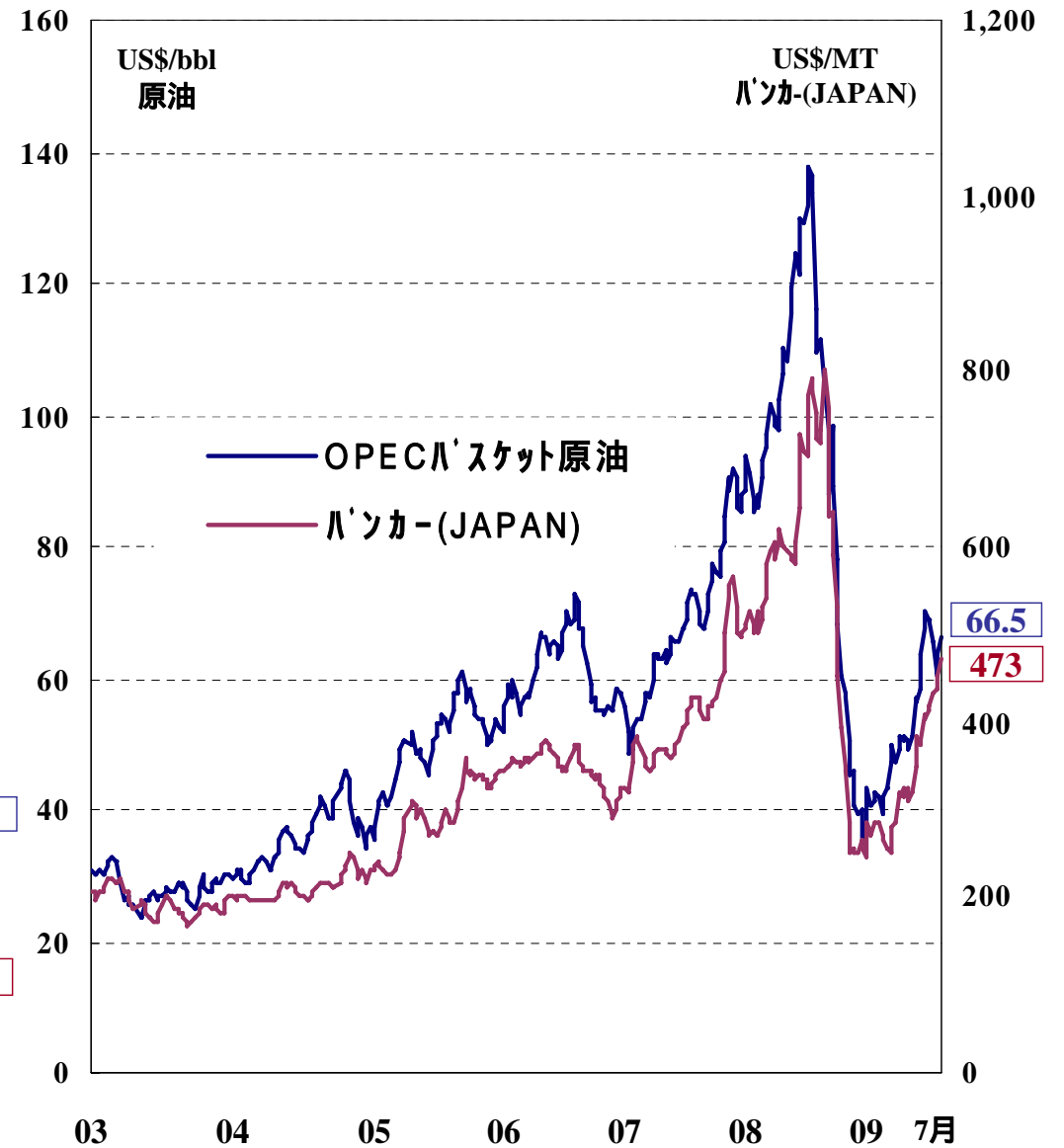


原料市況 < フレート・原油 >

フレート

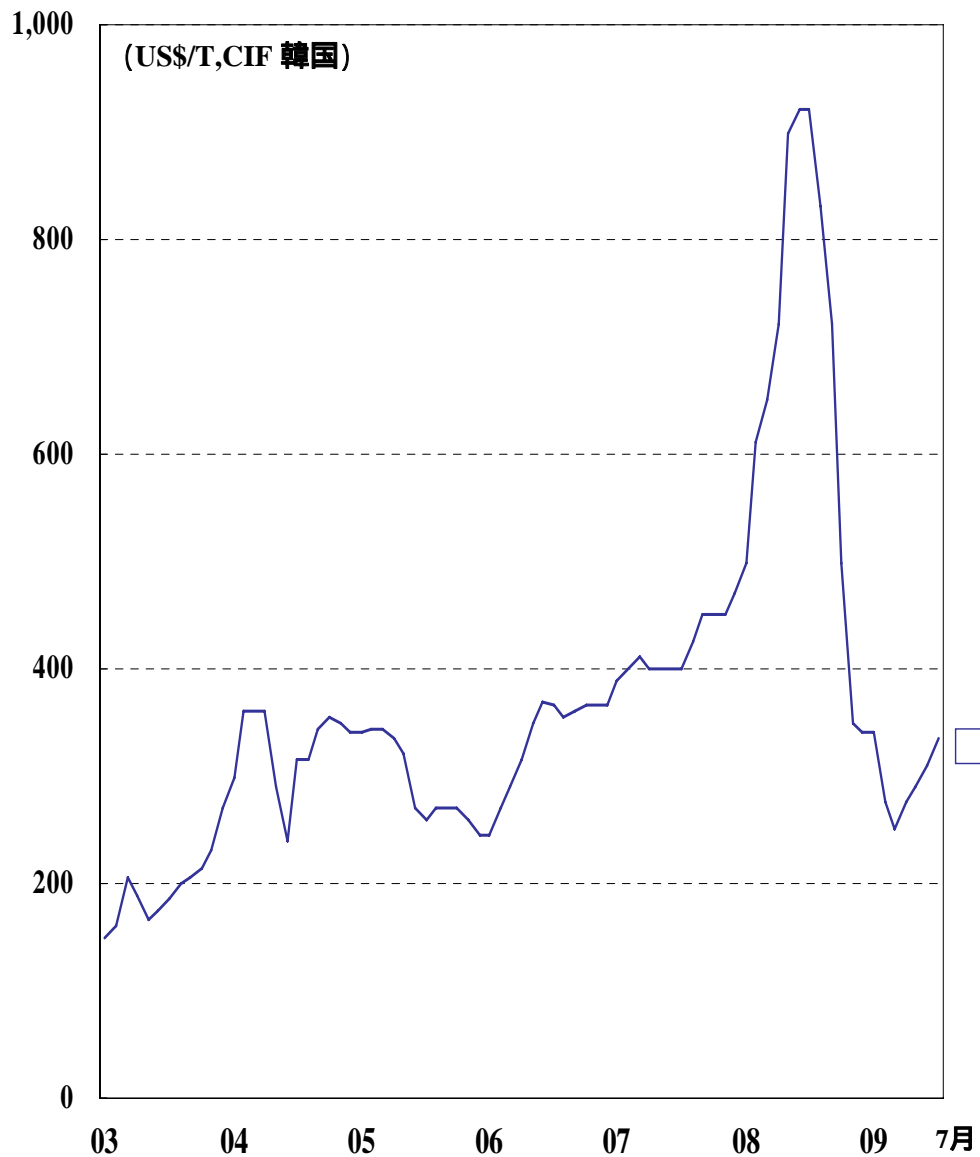


原油



原料市況 < 型鉄・スクラップ >

型鉄

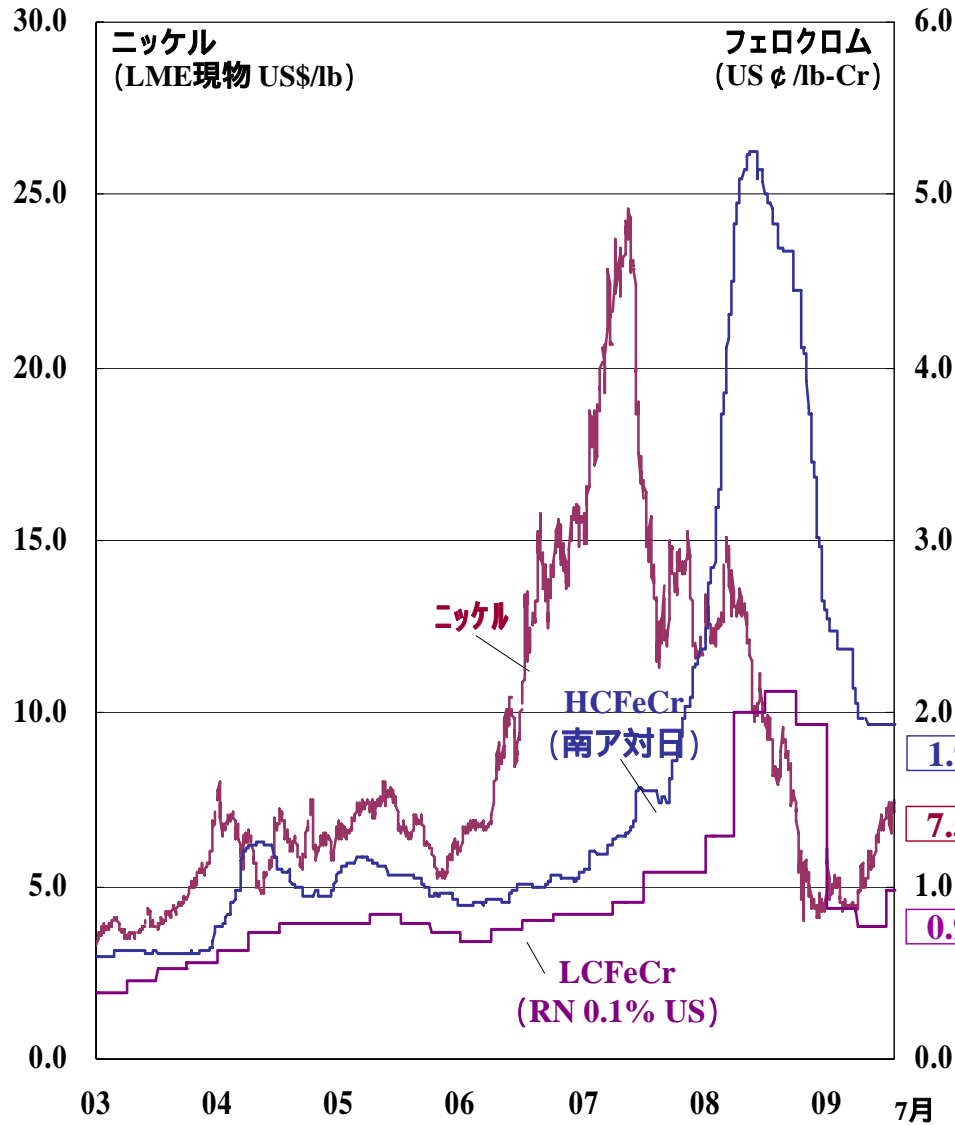


スクラップ

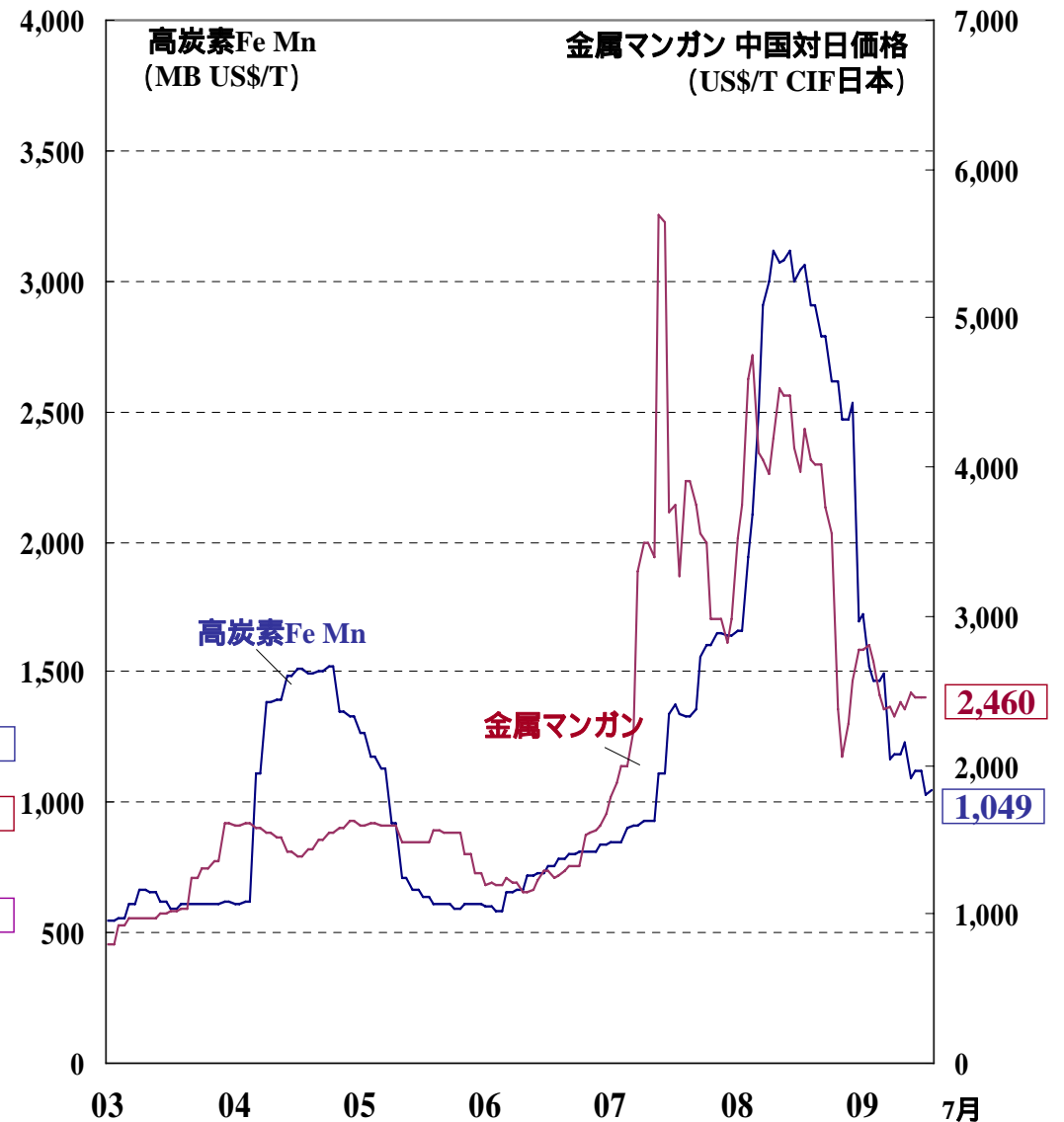


原料市況 < ニッケル・クロム・マンガン >

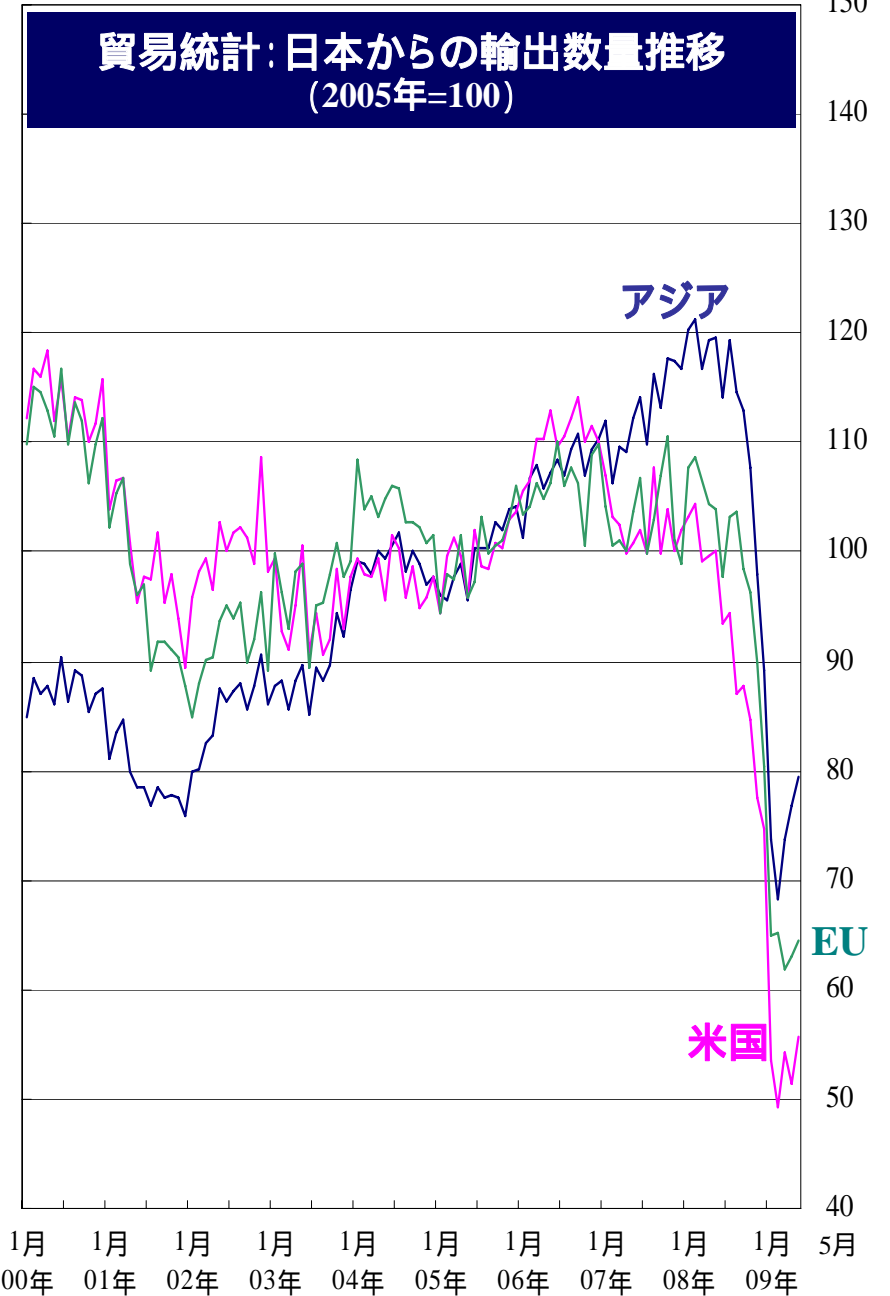
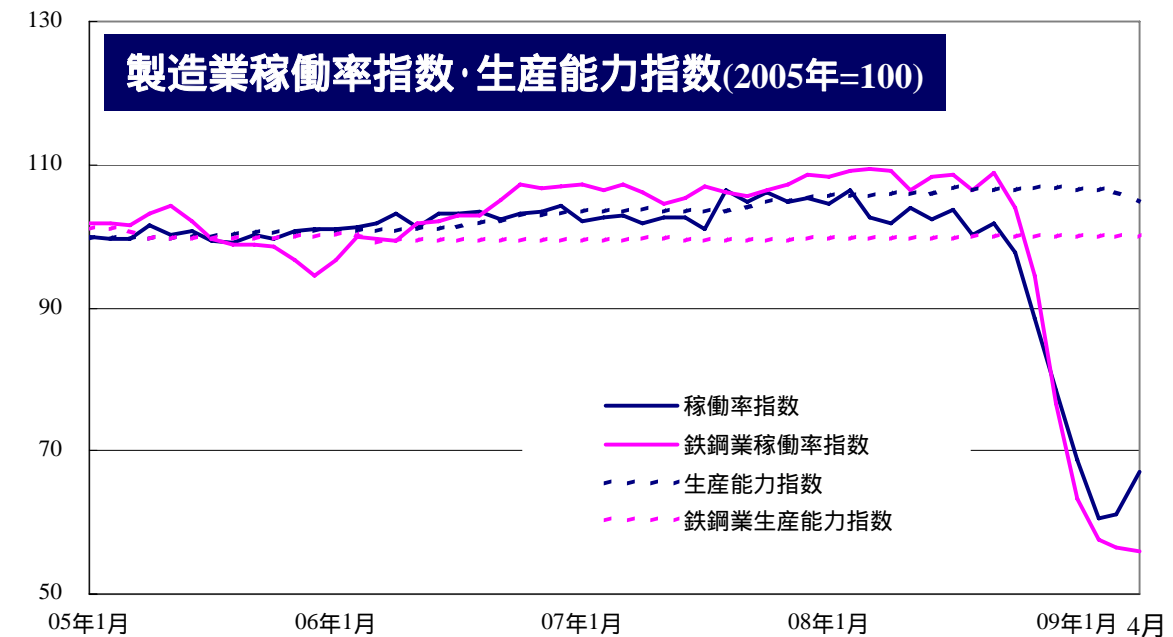
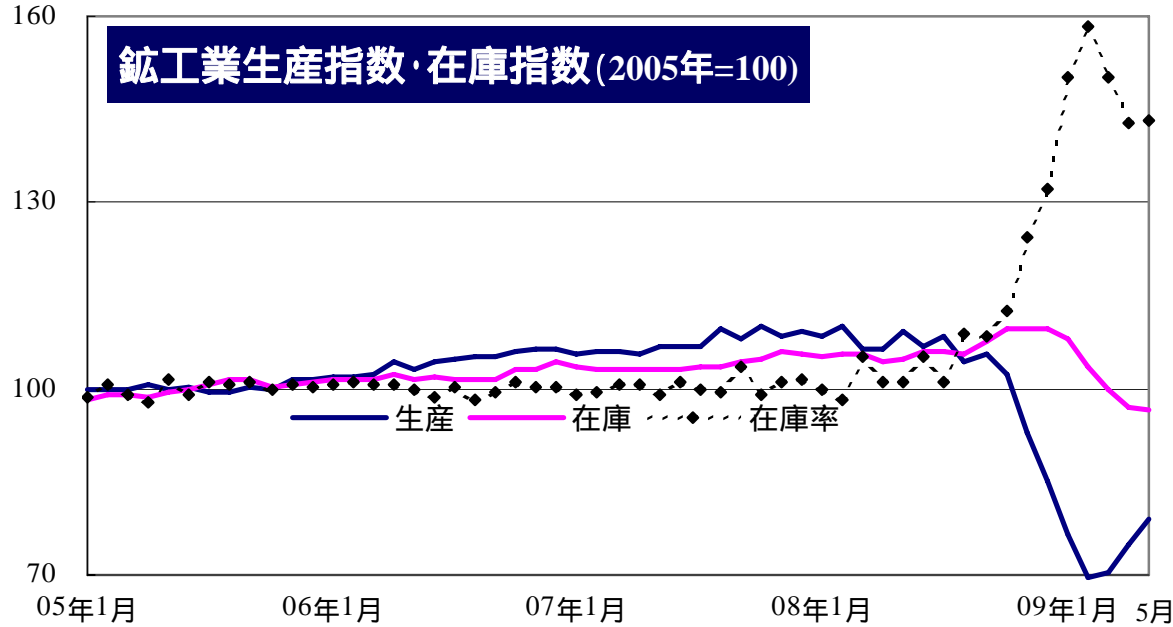
ニッケル・クロム



マンガン

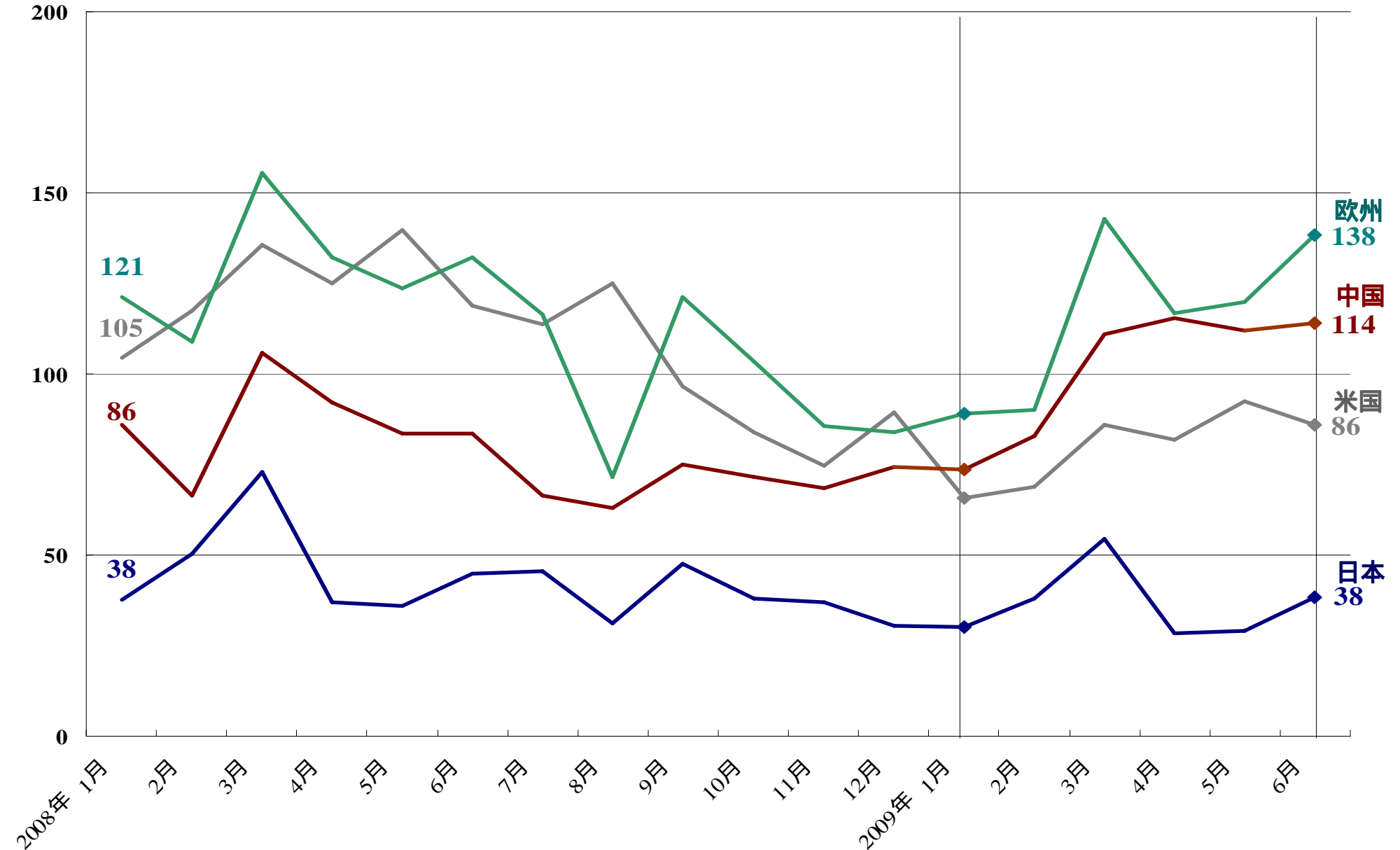


国内経済環境の変化



各国自動車販売台数推移

(万台)

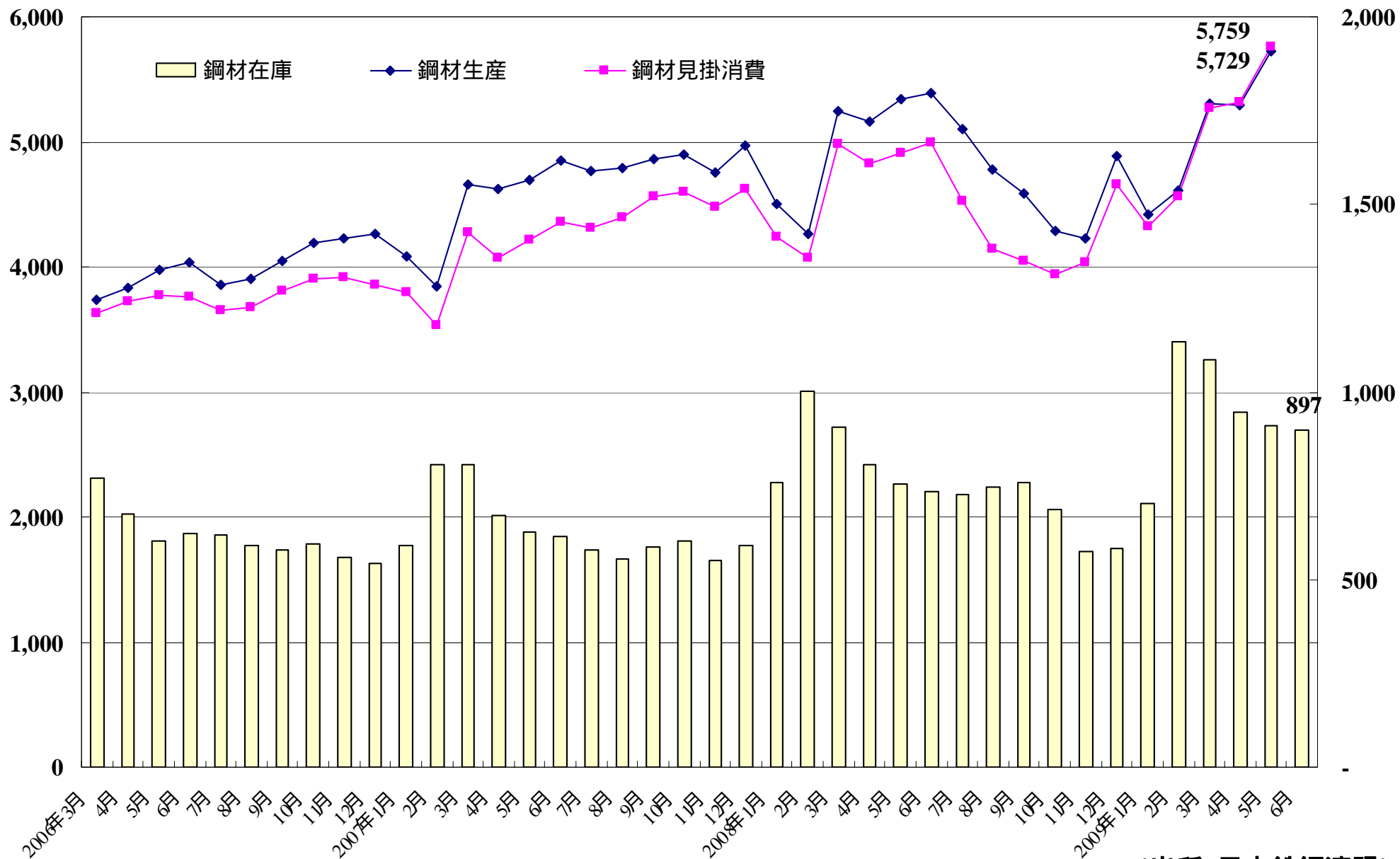


(出所: Fourin 世界自動車統計月報)

中国鋼材需給推移

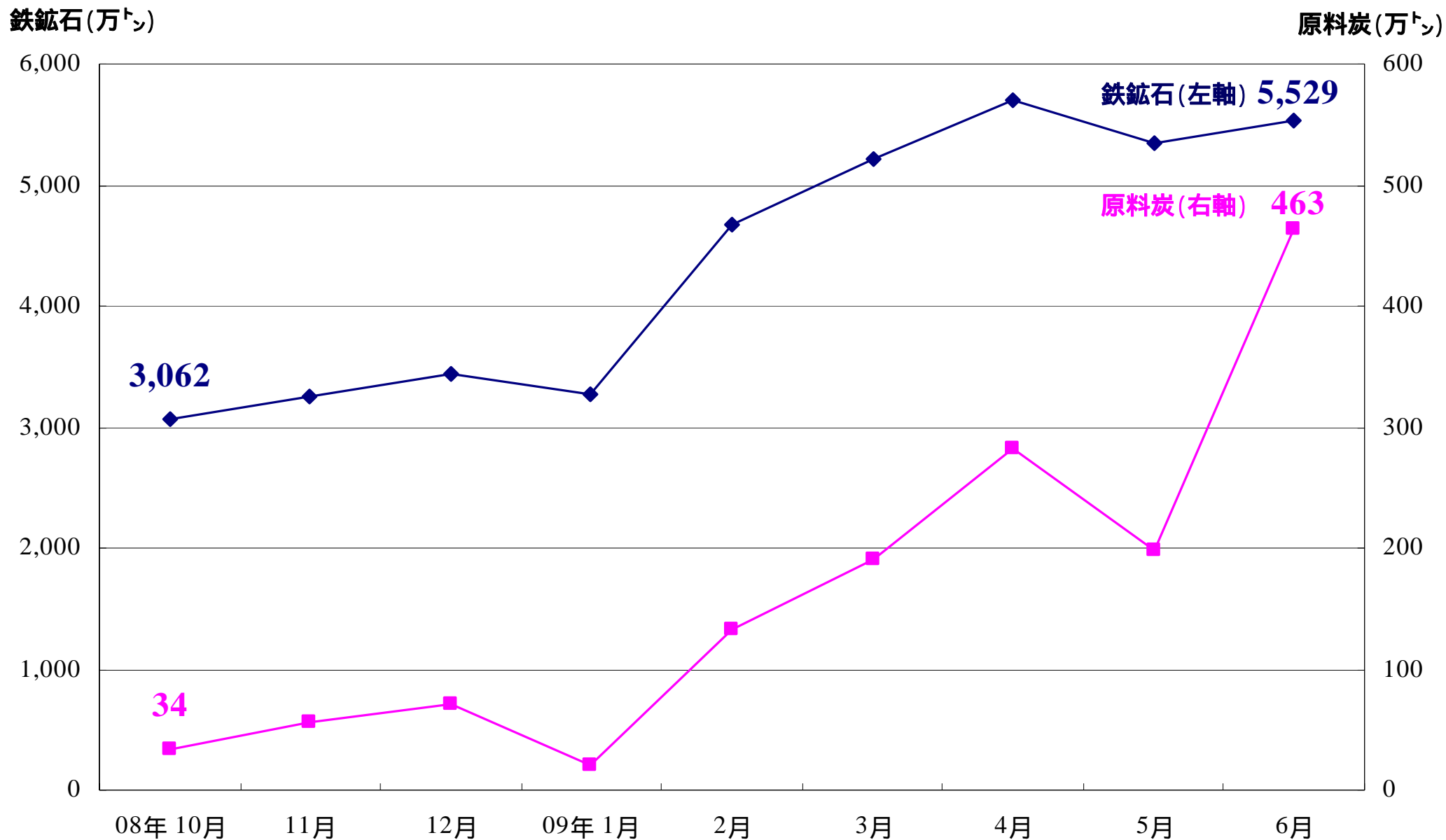
鋼材生産・鋼材見掛消費:万トﾝ

鋼材在庫:万トﾝ

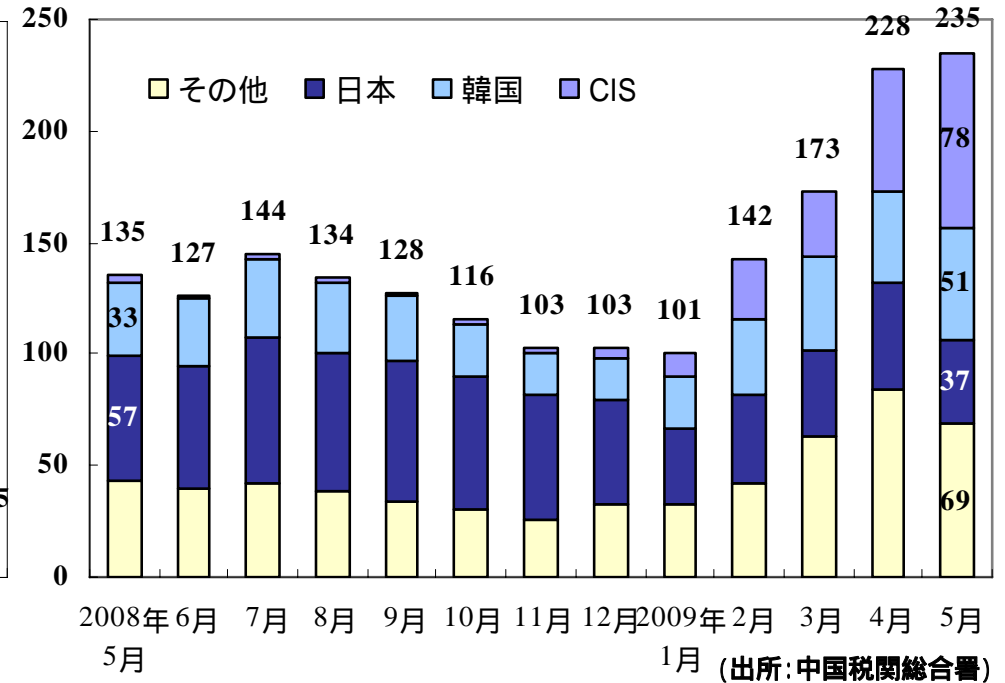
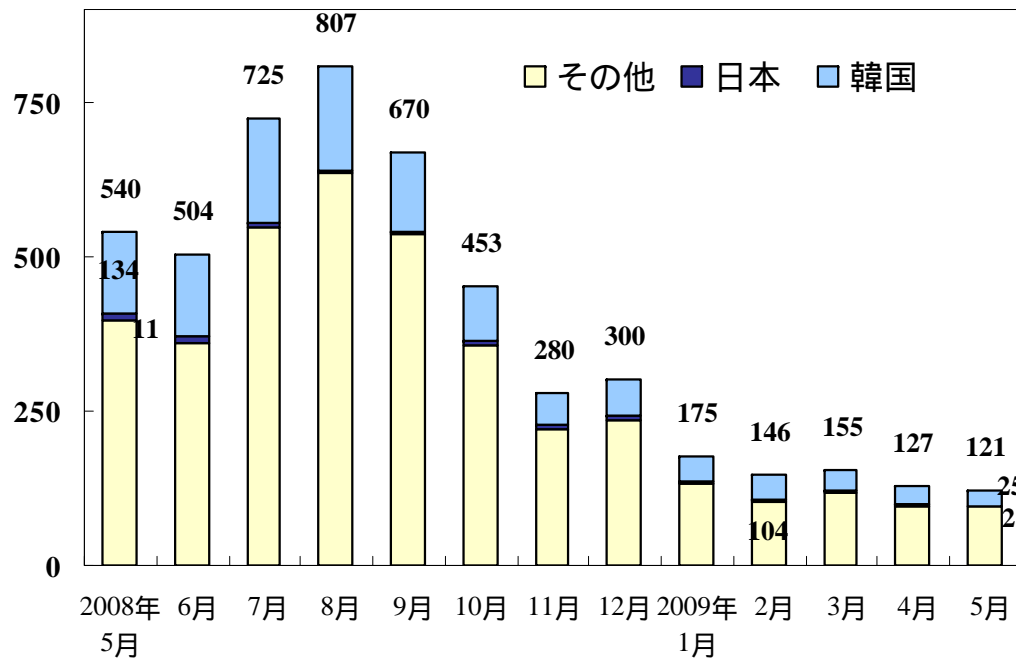
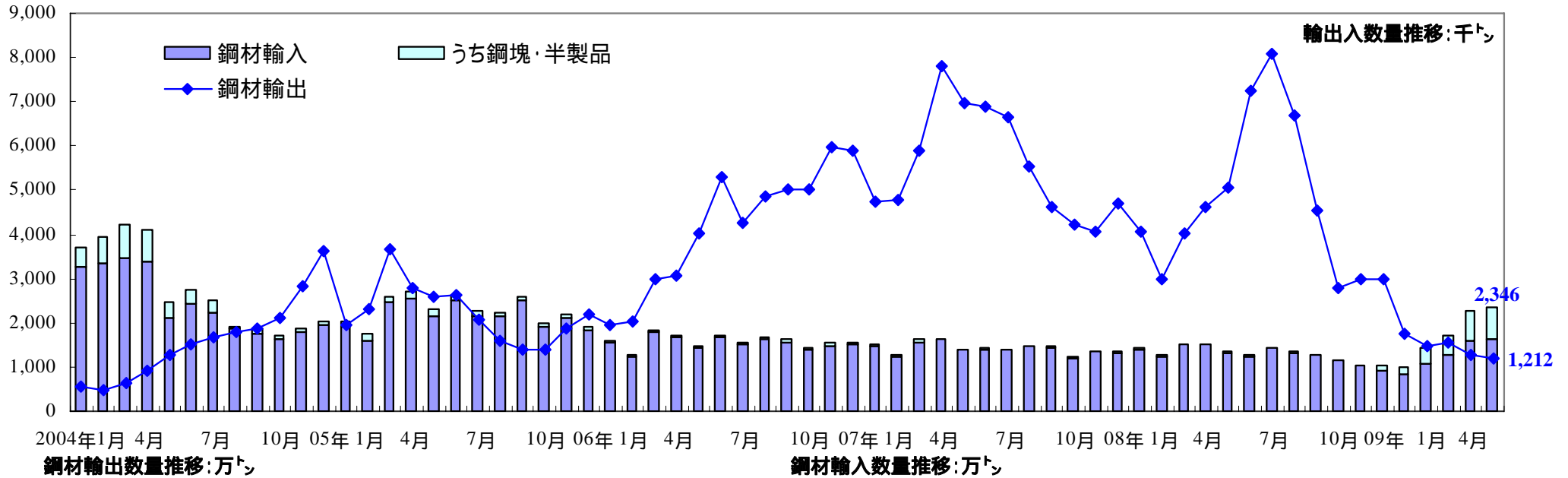


(出所:日本鉄鋼連盟)

中国鉄鋼原料輸入量推移



中国鋼材輸出入推移



終了

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。